

エコアクション21

環境経営レポート

丸安運輸株式会社

発行日 令和 5年 4月 30日

改定日 令和 5年 5月 30日

(実施期間 令和4年4月1日 ～令和5年3月31日)

目 次

1. 環境経営方針

2. 組織の概要

- (1) 事業者名及び代表者名
- (2) 所在地
- (3) 環境管理責任者及び連絡先
- (4) 事業活動
- (5) 事業規模
- (6) 産業廃棄物収集運搬実績
- (7) 許認可内容
- (8) 所有設備
- (9) 業務工程図
- (10) 貨物運送及び産業廃棄物収集運搬料金
- (11) 対象範囲
- (12) 組織図

3. 環境経営目標

4. 環境経営計画

5. 環境経営目標の実績

6. 環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組内容

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

8. 代表者の全体評価と見直し・指示

環境経営方針

<環境理念>

私たちは、貨物運送及び産業廃棄物収集運搬の事業活動を通じて地球環境を守るために出来るだけ環境負荷の低減に努め、地球温暖化防止と循環型社会の実現に向けた活動を自主的、積極的に継続して取り組みます。

<環境経営方針>

1. 環境関連法規及び当社が同意する要求事項を遵守します。
2. 全ての事業活動において、次の事項について具体的な環境経営目標・環境経営計画を定め実施します。
 - ① エコドライブを推進し、二酸化炭素排出量を削減しコストを低減します。
 - ② 省エネルギーに取組、電力使用量を削減しコストを低減します。
 - ③ 分別の徹底・リサイクルの推進により廃棄物排出量を削減しコストを低減します。
 - ④ 節水により水使用量を削減しコストを低減します。
 - ⑤ 貨物運送、産業廃棄物収集運搬での安全・エコ活動を推進します。
 - ⑥ 社会貢献活動を積極的に行います。
3. この方針を全社員に周知・徹底し、環境経営システムの継続的な改善を進めます。

令和 2年 6月13日 改定
丸安運輸株式会社
代表取締役 青山勝征

1. 組織の概要

(1) 事業者名及び代表者

丸安運輸株式会社

代表取締役 青山 勝征

(2) 所在地

本社 : 愛知県名古屋市南区港東通2-18

TEL 052-611-1201 FAX 052-611-5011

昭和町営業所 : 愛知県名古屋市港区昭和町19

TEL 052-611-1453 FAX 052-613-3936

(3) 環境管理責任者連絡先

環境管理責任者 : 青山勝征

本社 TEL 052-611-1201 FAX 052-611-5011

E-mail : maruyasu@asua.net

(4) 事業活動の内容

一般貨物運送事業、産業廃棄物収集運搬業、
特別管理産業廃棄物収集運搬業

(5) 事業規模

法人設立 : 昭和26年11月21日

資本金 : 2,500万円

売上 : 5,02億円(令和4年9月期)

従業員 : 50名(令和5年4月現在)

本社 : 敷地面積 209m²(床面積285m²)

昭和町営業所 : 敷地面積 6,586m²(床面積165m²)

(6) 産業廃棄物収集運搬実績

産業廃棄物収集運搬量 7,209t(令和4年度)

特別管理産業廃棄物収集運搬量 1t(令和4年度)

(7) 許認可内容

貨物運送業 名陸自第 5159 号 利用運送事業 名陸自 貨-265 号

産業廃棄物収集運搬業 (積替保管なし)

自治体	許可年月日	許可期限	許可番号
愛知県 (優良認定)	平成 29.4.21	平成 36.4.20	2300001380
燃え殻・汚泥・廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラ陶・ がれき類・鉍さい・ダスト類・廃酸・廃アルカリ・廃油・動植物性残さ・ ゴムくず			計 16 品目
岐阜県	令和 3.2.3	令和 8.1.30	2100001380
燃え殻・汚泥・廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・金属くず・ガラ陶・ がれき類・鉍さい・ダスト類・廃酸・廃アルカリ・廃油・動植物性残さ・ ゴムくず			計 16 品目
三重県	令和 3.9.24	令和 8.8.4	2400001380
汚泥・廃プラ・紙くず・木くず・繊維くず・ゴムくず・金属くず・ガラ陶・ がれき類・鉍さい			計 10 品目
静岡県	令和 3.2.23	令和 8.2.22	2201001380
汚泥・廃プラ・金属くず・ガラ陶・鉍さい			計 5 品目
愛知県 (特管)	令和 1.6.18	令和 6.6.17	2350001380
特定有害ダスト類 (カドミウム・鉛・6 価クロム)			計 3 品目

(8) 保有設備

トラクタ	2台	トレーラ	2台
大型ウイング	10台	大型ダンプ	1台
大型パッカー	8台	中型ウイング	4台
中型ユニック	2台	中型パッカー	8台
中型フックロール	2台	中型平ボディ	2台
2tパッカー	1台	1tバン	8台
		合計	50台
		内収集運搬車両	28台

(9) 産業廃棄物収集運搬工程図

排出事業者→収集依頼→配車→事業所内積込→指定中間処理場へ搬入

(10) 貨物運送料金及び産業廃棄物収集運搬料金 車輛基本単価

走行距離・作業内容（積込作業・納品等降し作業）・待機の有無等で料金を決定致しますが、基本は下記時間単価がベースになります。

1tバン	3,500～4,500円/時
<8t未満中型車>	
3t・4tウイング	4,000～5,500円/時
<11t未満中型車>	
フックロール	5,500～6,500円/時
ユニック	//
パッカー	//
大型ダンプ	6,000～6,500円/時
13tウイング	6,250～7,500円/時

見積のご依頼は、当社運輸部までご連絡下さい。

電話052-611-1453

Mail: maruyasu-unyu@asua.net

(11) 対象範囲

対象組織 : 全組織

対象活動 : 事業活動の内容

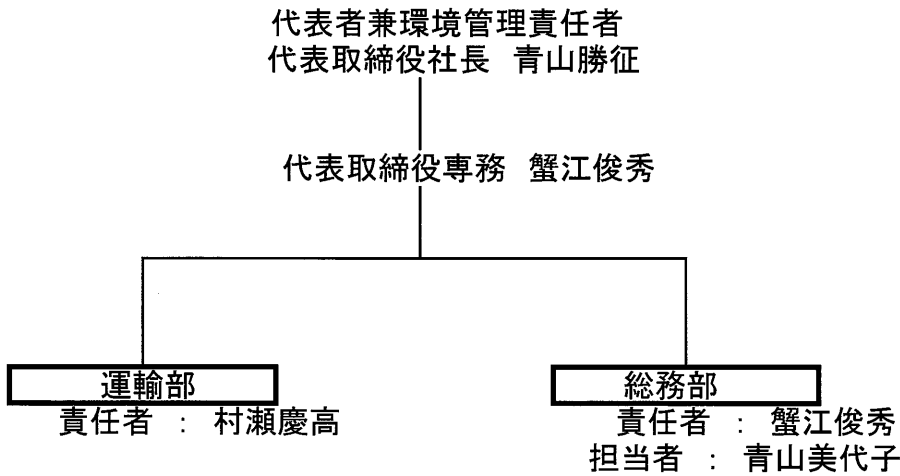
(12) EA21組織図

作成日 : 令和5年 4月30日

作成者 : 青 山 勝 征

(EA21実施体制)

総数 50名



主任 2名
リーダー 4名

	担当者	役割・責任・権限
代表者兼 環境管理責任者	青山勝征	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の策定、設備・費用等の準備。 全体の評価と見直し。 環境経営システムを構築し運用する。 外部からの苦情等の受付と必要な対応及び結果を記録する。 環境活動レポートを作成する。 環境関連文書及び記録の作成・管理等
部門長		<ul style="list-style-type: none"> EA21取組実施 実施状況確認・記録・提出
全従業員		<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取組の重要性の理解 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

作成日：令和 5年 4月30日
 作成者：青山勝征

3. 環境経営目標

令和4年度(令和4年 4月～令和5年3月)実績を基準年度として以下に環境負荷の削減目標を示します。

環境目標		単位	令和4年度 (4.4～5.3) 実績	令和5年度 (5.4～6.3) 1%削減	令和6年度 (6.4～7.3) 2%削減	令和7年度 (7.4～8.3) 3%削減
二酸化炭素排出量 の削減	二酸化炭素排出量	kg-CO2	841,337	832,924	824,510	816,097
	の削減	kg-CO2/百万円	1,676	1,659	1,642	1,626
廃棄物の排出量 の削減削減	電力の使用量削減	kwh	30,557	30,251	29,946	29,640
	軽油の使用量削減	L	296,688	293,721	290,754	287,787
	一般廃棄物排出量削減	kg	814	806	798	790
水使用量の削減	産業廃棄物排出量削減	kg	3,270	3,237	3,205	3,172
	水使用量の削減	m3	555	549	544	538
運送・運搬の環境配慮	安全・エコ活動の推進	—	推進	推進	推進	推進
社会貢献活動の推進	車庫周辺清掃の実施	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年	2回/年

1) 購入電力の二酸化炭素排出係数は、中部電力の平成30年度係数0.452kg-CO2/kwh(調整後)

2) 有害化学物質の使用はありません。

3) 都市ガスと灯油とガソリンは、発生比率が低いので(1%未満)目標設定しない。

作成日：令和 4年 3月20日

作成者：青山勝征

4. 環境経営計画（令和4年4月～令和5年3月）

（1）二酸化炭素排出量の削減取組

① 軽油使用量の削減

- ・ デジタコの活用によるエコドライブ活動
- ・ 不要物を積載しない

② 電気使用量の削減

- ・ 昼休みの消灯、不要時の消灯
- ・ 帰宅時は、パソコン・プリンターは電源をOFFにし、コピー機は待機モードにする。
- ・ 空調は、夏27度、冬23度に設定する。

（2）廃棄物の削減・リサイクルの取組

一般廃棄物

- ・ 資源ゴミと可燃ごみの分別の徹底
- ・ 裏紙の使用

産業廃棄物

- ・ 物流資材を丁寧に扱う
- ・ 分別の徹底によりリサイクルの推進

（3）水使用量の削減への取組

- ・ 水の流しっぱなし作業をしない
- ・ ストッパー付ガンで洗車する

（4）運送・運搬の環境配慮（安全・エコ活動の推進）

- ・ トラックセーフティラリー全員参加（別紙）
- ・ 特殊車両の架装年次点検及びフォークリフト年次点検
- ・ 油漏れの可能性のある修理は即対応

（5）社会貢献活動等

- ・ 会社周辺の清掃活動

5. 環境経営目標の実績

	基準年 令和 2年4～ 令和3年3月 実績	目標 令和4年4～ 令和5年3月 2%削減	実績 令和4年4～ 令和5年3月	目標比 増減 %	結果	今後 令和5年4～ 令和6年3月 3%削減
環境負荷					○	
二酸化炭素排出量の削減 kg-CO2(kg-CO2/百万円)	768,161 1,746	752,798 1,711	841,337 1,676	▲11,8 % △ 2 %	×	745,116 1,693
エネルギー量					○	
電気使用量(kwh)	32,004	31,364	30,557	△2,6 %	○	31,044
軽油使用量(L)	287,194	281,450	296,688	▲5,4 %	×	278,578
一般廃棄物排出量(kg)	936	917	814	△ 11,2 %	○	908
産業廃棄物(kg)	5,395	5,287	3,270	△38,2 %	○	5,233
水の使用量(m3)	658	645	555	△ 14,0 %	○	638
運送・運搬の環境配慮	安全・エコ活動実施	安全・エコ活動実施	安全・エコ活動実施	実施	○	安全・エコ活動実施
会社周辺の清掃活動 (2回/年)	1回/6ヶ月	1回/6ヶ月	令和4年6月18日 令和4年12月17日	100%	○	1回/6ヶ月

注. 太陽光発電の自家使用に伴うCO2削減分 8,095kWhX650g≒ 5tのCO2削減

環境目標の達成状況

2023.4.26

作成日: 令和5年 4月30日 作成者: 青山勝征

環境方針	環境目標	令和5年												合計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
二酸化炭素排出量の削減	前年実績	78,710	48,302	81,232	76,243	54,055	65,371	66,746	84,606	70,149	75,443	66,195	74,358	841,410
	目標	77,923	47,819	80,420	75,481	53,514	64,717	66,079	83,760	69,448	74,689	65,533	73,614	832,997
	実績	58,876	58,180	74,592	60,379	56,403	53,628	66,863	78,312	57,594	58,002	75,588	78,619	777,036
	評価	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	○
二酸化炭素排出量の削減	前年実績	2,063	1,904	2,045	2,673	2,917	2,297	2,216	2,240	3,156	3,189	3,178	2,873	30,751
	目標	2,042	1,885	2,025	2,646	2,888	2,274	2,194	2,218	3,124	3,157	3,146	2,844	30,443
	実績	2,609	1,950	1,767	2,381	3,067	2,628	2,097	2,093	3,154	3,277	3,129	2,405	30,557
	評価	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×
軽油使用量の削減 (L)	前年実績	30,205	18,442	31,185	29,159	20,523	25,000	25,545	32,464	26,726	28,773	25,190	28,399	321,611
	目標	29,903	18,258	30,873	28,867	20,318	24,750	25,290	32,139	26,459	28,485	24,938	28,115	318,395
	実績	22,437	22,264	28,652	23,053	21,411	20,400	25,608	30,046	21,860	22,000	28,838	30,119	296,688
	評価	○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○
廃棄物排出量の削減	前年実績	62	66	81	71	58	69	73	71	86	58	60	70	825
	目標	61	65	80	70	57	68	72	70	85	57	59	69	813
	実績	63	57	99	63	66	63	69	63	90	59	53	69	814
	評価	×	○	×	○	×	○	○	○	×	×	○	△	×
節水	前年実績	0	0	1,980	4,520	950	420	60	0	2,100	426	0	252	10,708
	目標	0	0	1,960	4,475	941	416	59	0	2,079	422	0	249	10,601
	実績	0	440	0	140	0	120	430	850	1,230	0	60	0	3,270
	評価	△	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○
社会貢献	前年実績	288		102		97		109		103		109		808
	目標	285		101		96		108		102		108		800
	実績	105		89		100		85		89		87		555
社会貢献	前年実績	○		○		×		○		○		○		○
環境目標達成状況評価	前年実績	半期に1回												半期に1回
	目標	半期に1回												半期に1回
	実績	半期に1回												半期に1回

・目標に対しては、達成した物と達成していない物があるが、前年対比でみればすべての項目で改善している、この活動を継続していけば良い。

6. 環境経営計画の取り組み結果と評価、今後の取組

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境活動計画	実施結果	評価と次年度の取組内容
二酸化炭素排出量の削減		
デジタコの活用によるエコドライブ活動	○	選挙もあり特殊業務で連続や待機が多かった。
車両点検・整備の励行、空気圧	◎	車検・3ヶ月点検、架装年次は問題無く実施できた
不要物を積載しない	◎	ほとんどの車両が、キャビンをきれいにしていた。

電気使用量の削減		
昼休みの消灯、不要時の消灯	○	昼の消灯や階段の消灯ができてない時があった
帰宅時は、パソコン・プリンターは電源をOFFにし、コピー機は待機モードに。	◎	問題なく、引き続き継続
空調は、夏は27度、冬は23度	○	梅雨はドライ、冬は加湿器も織り交ぜ対応

廃棄物の削減・リサイクルの取組		
一般廃棄物		
資源ゴミと可燃ゴミの分別の徹底	◎	分別は引き続き継続できた
裏紙の使用	◎	再使用の紙は裏紙使用やメモ帳にしている。
産業廃棄物		
物流資材を丁寧に扱う	◎	下駄パレ、パレット、パレティーナ等。
分別の徹底によりリサイクルの推進	◎	分別は出来ている。

水使用量の削減		
洗車時は、水の出っぱなし厳禁	◎	問題なく、引き続き継続
洗車時は、ストッパー付ガンで洗車する。	◎	問題なく、引き続き継続

運送・収集運搬での安全・エコ活動		
セーフティーラリー参加	◎	問題なく、引き続き全員参加を継続
個別燃費目標設定	◎	問題なく、引き続き継続

社会貢献活動		
会社周辺の清掃活動	◎	年2回実施、問題なく引き続き継続

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価結果と違反、訴訟等の有無

評価日: 令和 5年 4月30日

評価者: 青山勝征

適用法令等	条項	該当する規制	遵守項目	遵守評価
廃棄物処理法	12条5項・6項	産業廃棄物の収集運搬基準	書面の備付け・表示	○
		産業廃棄物の適正処理(処理業者への委託)	委託契約書	
	12条の3	産業廃棄物管理表(マニフェスト)交付	5年間保存	
		管理票交付状況の県知事への年度報告	管理票交付状況報告書	
道路運送車両法	62条	所有車両の法定点検(車検)	車両分解整備記録簿	○
	48条	所有車両の定期点検(3ヶ月点検)	整備記録簿	
	47条の2	所有車両の日常点検	点検シート	
道路交通法	22条	積載重量の遵守	積載重量	○
	65条	飲酒運転の禁止	アルコールチェック	
貨物自動車運送事業法	2条	一般貨物自動車運送事業	緑ナンバー	○
自動車NOx-PM法	15条1項	型式規制(排出基準)適合車	車検証	○
消防法	14条の3の2	危険物取扱者の届出、施設の定期点検	届出及び点検記録	○
浄化槽法	11条	保守点検基準の遵守(法令点検他)	点検結果	○
愛知県民の生活環境 保全条例	77条	アドリングストップの社員教育義務	会議にて説明	○
		500㎡以上駐車場利用者へアドリングストップ周知	看板設置	○
家電リサイクル法	6条	使用済特定家電の引取業者への適正な引渡し	写し	○
自動車リサイクル法	22条	使用済自動車の引取業者への適正な引渡し	リサイクル券引継	○
フロン排出抑制法	16条	業務用エアコンの修理・廃棄時は登録業者に委託	実績無	
		フロン漏れ点検実施	簡易点検表	○
水質汚濁防止法	3条	洗車時の油分漏洩防止のため油水分離設備の設置	事故時、監督官庁へ報告	○

環境関連法規への違反行為はありません。 また、関係する当局から違反、訴訟等の指摘は、過去3年間ありません。

8. 代表者の全体評価と見直し結果

令和 5年 4月30日
代表者：青山勝征

1. 見直しに必要な情報

- ・環境目標の達成状況
- ・環境活動計画の実施及び運用結果
- ・環境法令等の遵守状況
- ・外部からの環境に関する苦情や要望等
- ・前回の指示への取組結果

2. 変更の必要性

環境方針	○不要	・	要
環境目標	○不要	・	要
環境活動計画	○不要	・	要
環境経営システム	○不要	・	要

[変更の理由]

3. 評価結果及び指示事項

令和 4年度は、3年度に大幅に増加した軽油使用量が昨年対比でほぼ拮抗した状況に落ち着いた。しかしながら、原単位は若干低下しており良い方向で進んでいる。自社の産業廃棄物の削減、水の使用量削減なども順調に進んでおり、イレギュラーな要因で産業廃棄物の発生量と水の使用量が前年大幅に増加したが一過性のため令和4年度は落ちついた数字になってきている。

まだコロナの影響があるかもしれないが、年度毎の大きい変化は収まっていくと思われるので、目標は変更せずに活動を続けていく。